

大山火山灰に係る噴出規模および 各発電所の降下火砕物の最大層厚に関する報告書の概要

1. 噴出規模

11.0 km³ (最大)

2. 最大層厚

最大噴出規模 11.0 km³ を踏まえた各発電所の敷地における降下火砕物の最大層厚は、以下のとおり。

発電所	最大層厚※
美浜発電所	13.5 cm
高浜発電所	21.9 cm
大飯発電所	19.3 cm

※当社が自主的に検討していた実力評価において、原子炉補助建屋等の建物は最低でも 28 cm、屋外タンクや非常用ディーゼル発電機等の設備は最低でも 47 cm の降下火砕物に耐えられることを確認 (2018年10月5日の原子力規制委員会での意見交換会にて資料提出)

3. 今回の評価に用いた大山生竹軽石の層厚が確認されている地点 (位置図)



<凡例> 赤字：原子力規制庁から示された地点、黒字：当社が文献調査により追加した地点

4. 考察

当社としては、今回の評価で得られた最大噴出規模の噴火については、これまでの審査※における火山評価結果等から、発電所の運用期間中に発生する可能性は十分低いと考えています。

※各発電所の原子炉設置変更許可

- ・高浜発電所：平成 27 年 2 月 12 日付け原規規発第 1502121 号
- ・大飯発電所：平成 29 年 5 月 24 日付け原規規発第 1705242 号
- ・美浜発電所：平成 28 年 10 月 5 日付け原規規発第 16100514 号